



## 平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況 (連結)

平成18年7月27日

上場会社名 株式会社安川電機

(コード番号：6506 東証第一部 福証)

(URL <http://www.yaskawa.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 利島康司

TEL：(093) 645-8810

問合せ先責任者 役職名 広報グループ長 氏名 赤木 博

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 固定資産の減価償却の方法や棚卸資産の評価の方法などについて一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 詳細は添付資料8ページを参照
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成19年3月期第1四半期の財務・業績の概況

#### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (平成18年3月21日～平成18年6月20日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	83,982	25.6	6,605	144.8	6,469	170.6	719	27.7
18年3月期第1四半期	66,861	4.4	2,697	131.5	2,391	136.0	563	—
(参考)18年3月期	322,916		24,486		24,331		10,157	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	3.10	3.03
18年3月期第1四半期	2.44	2.34
(参考)18年3月期	43.18	39.72

(注) 売上高、営業利益、経常利益、第1四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率であります。

#### (2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	251,239	55,794	20.5	221.75
18年3月期第1四半期	245,984	38,830	15.8	167.88
(参考)18年3月期	255,222	52,750	20.7	226.51

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	6,148	△ 1,297	△ 2,543	14,373
18年3月期第1四半期	△ 9,682	△ 1,697	3,618	10,172
(参考)18年3月期	18,724	△ 9,729	△ 14,934	12,102

### 3. 平成19年3月期の連結業績予想 (平成18年3月21日～平成19年3月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	166,000	12,500	7,500
通期	340,000	27,500	15,895

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 68円47銭

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の業績は、モーションコントロール部門は、半導体・電子部品市場向けが堅調に推移いたしました。ロボット部門（従来の「ロボティクスオートメーション」を今年度から名称変更）は、国内では、自動車関連市場向けにおいて設備投資の調整局面による一時的な需要減少が見られましたが、海外では堅調に推移いたしました。システムエンジニアリング部門は、中国向けのクレーン用電機品が売上高の増加につながりました。地域別には、日本・米州・欧州・アジアの全地域で好調に推移し、また、為替動向の推移も増収増益につながりました。

この結果、当第1四半期の売上高は前年同期比25.6%増の839億82百万円、営業利益は前年同期比2.4倍の66億5百万円、経常利益は前年同期比2.7倍の64億69百万円となりました。純利益は、固定資産の減損損失20億30百万円を特別損失として計上いたしましたが、前年同期比27.7%増の7億19百万円と、いずれも第1四半期としては過去最高を記録いたしました。

セグメント別の状況はつぎのとおりです。

[モーションコントロール]

モーションコントロール部門においては、ACサーボは、半導体・電子部品市場向けや海外市場が堅調に推移し、インバータも海外を中心に好調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期比27.4%増の363億53百万円、営業利益は前年同期比2.6倍の46億98百万円となりました。

[ロボット]

ロボット部門においては、国内は自動車関連市場の設備投資の調整局面による一時的な需要減少の影響を受けましたが、液晶ガラス搬送関連市場や半導体製造装置関連市場からの需要が回復し、米州、欧州も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期比18.8%増の301億62百万円、営業利益は前年同期比3.4%増の20億2百万円となりました。

[システムエンジニアリング]

システムエンジニアリング部門においては、中国向けのクレーン用電機品が増加し、一方では前期から継続して部門内の構造改善を進めてまいりました。

この結果、売上高は前年同期比61.4%増の99億99百万円、損益面では、2億67百万円の営業損失となりましたが、前年同期比で7億66百万円改善いたしました。

[情報]

情報部門においては、株式会社ワイ・イー・データでは、マルチメディア機器のシリコンメディア製品、マーケティングシステム、データ復旧サービスが前年度下期に引き続き好調に推移いたしました。また、安川情報システム株式会社では、通信事業者向けシステム構築や、その他ビジネスソリューションが堅調に推移し、設備投資の増加に伴う半導体・液晶装置メーカー向け制御用ソフトやアプリケーションソフトの需要も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期比26.1%増の55億40百万円、損益面では、3億26百万円の営業損失となりましたが、前年同期比で84百万円改善いたしました。

[その他]

その他部門においては、売上高は前年同期比 17.8%減の 19 億 25 百万円、営業利益は前年同期比 18.2%増の 4 億 81 百万円となりました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

① 資産、負債及び純資産の状況

資産の部では、流動資産は 1,679 億 5 百万円（前年度期末比 12 億 86 百万円減）となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が 87 億 79 百万円減少したこと、たな卸資産が 56 億 51 百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は 833 億 33 百万円（前年度期末比 26 億 96 百万円減）となりました。これは、主として有形固定資産が 17 億 89 百万円減少したこと等によるものです。

この結果、資産合計は 2,512 億 39 百万円（前年度期末比 39 億 83 百万円減）となりました。

負債の部では、流動負債は 1,272 億 59 百万円（前年度期末比 17 億 14 百万円減）となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が 38 億 72 百万円増加したこと、その他流動負債が 55 億 30 百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は 681 億 85 百万円（前年度期末比 12 億 22 百万円減）となりました。これは、主として長期借入金が 9 億 90 百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 1,954 億 44 百万円（前年度期末比 29 億 37 百万円減）となりました。

純資産合計は 557 億 94 百万円となり、前年度期末の少数株主持分及び資本合計と比べ、10 億 46 百万円の減少となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期のキャッシュ・フローの概況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益 44 億 29 百万円に加え、債権の回収・流動化の促進による売上債権の減少等により、61 億 48 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産等の取得による支出 21 億 38 百万円があった一方、有形固定資産等の売却による収入 10 億 80 百万円などがあり、12 億 97 百万円の支出となりました。

この結果、営業活動と投資活動をあわせたフリー・キャッシュ・フローは、48 億 51 百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済と配当金の支払等により、25 億 43 百万円の支出となりました。

以上により、当期末の現金及び現金同等物の残高は、前年度期末に比べ 22 億 71 百万円増加し、143 億 73 百万円となりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 19 年 3 月期中間期の業績予想につきまして、平成 18 年 7 月 3 日に公表した業績予想を次頁のとおり修正いたします。

## 【連結中間期業績予想数値の修正】

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成18年7月3日発表)	158,000	9,500	6,895
今回修正予想 (B)	166,000	12,500	7,500
増減額 (B-A)	8,000	3,000	605
増減率	5.1%	31.6%	8.8%
(参考) 前中間期実績	146,101	8,189	2,748

モーションコントロール、ロボットの両部門を中心に需要が堅調に推移し、収益が拡大していることから、平成18年7月3日に公表した中間期業績予想を修正いたします。

なお、平成19年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では前回の公表どおりとさせていただきます。

(参考)

## 第1四半期個別経營業績の概況 (平成18年3月21日～平成18年6月20日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	47,081	17.1	2,321	837.4	3,963	152.3	△1,410	—
18年3月期第1四半期	40,189	7.2	247	—	1,570	—	160	—
(参考)18年3月期	189,518		8,146		13,047		3,803	

(注) 売上高、営業利益、経常利益、第1四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率であります。

## 平成19年3月期の個別業績予想 (平成18年3月21日～平成19年3月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	100,000	7,000	5,600
通期	202,000	15,000	10,006

## 【個別中間期業績予想数値の修正】

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成18年7月3日発表)	92,000	5,000	5,056
今回修正予想 (B)	100,000	7,000	5,600
増減額 (B-A)	8,000	2,000	544
増減率	8.7%	40.0%	10.8%
(参考) 前中間期実績	87,973	4,217	540

なお、平成19年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では前回の公表どおりとさせていただきます。

## 【注記事項】

業績予想数値につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なることがあり得ます。

以 上

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	平成19年3月期第1四半期 (平成18年6月20日現在)		平成18年3月期 (平成18年3月20日現在)		増減 (A) - (B)
		金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	
			%		%	
	(資産の部)					
流	動	167,905	66.8	169,192	66.3	△ 1,286
	現金及び預	14,419		12,147		2,271
	受取手形及び売掛	76,232		85,012		△ 8,779
	たな卸資産	63,828		58,177		5,651
	その他流動資産	13,425		13,854		△ 429
固	定	83,333	33.2	86,030	33.7	△ 2,696
	有形固定資産	37,866		39,656		△ 1,789
	無形固定資産	7,928		8,422		△ 494
	投資その他の資産	37,538		37,952		△ 413
資	産	251,239	100.0	255,222	100.0	△ 3,983
	(負債の部)					
流	動	127,259	50.7	128,973	50.5	△ 1,714
	支払手形及び買掛	68,955		65,082		3,872
	短期借入	30,218		30,274		△ 56
	その他流動負債	28,085		33,616		△ 5,530
固	定	68,185	27.1	69,408	27.2	△ 1,222
	社債	10,000		10,000		-
	新株予約権付社債	14,268		14,368		△ 100
	長期借入金	6,924		7,914		△ 990
	退職給付引当金	35,615		35,774		△ 158
	その他	1,377		1,351		26
	負債合計	195,444	77.8	198,382	77.7	△ 2,937
	(純資産の部)					
株	主	46,491	18.5	-	-	-
	資本	15,908		-	-	-
	資本剰余金	11,379		-	-	-
	利益剰余金	19,523		-	-	-
	自己株式	△ 320		-	-	-
評	価・換算差額等	4,987	2.0	-	-	-
	その他有価証券評価差額金	4,121		-	-	-
	繰延ヘッジ損益	△ 16		-	-	-
	為替換算調整勘定	882		-	-	-
少	数株主持分	4,315	1.7	-	-	-
純	資産合計	55,794	22.2	-	-	-
負	債及び純資産合計	251,239	100.0	-	-	-
	(少数株主持分)					
少	数株主持分	-	-	4,090	1.6	-
	(資本の部)					
資	本	-	-	15,858	6.2	-
資	本	-	-	11,329	4.4	-
利	益	-	-	20,367	8.0	-
	その他有価証券評価差額金	-	-	4,739	1.9	-
	為替換算調整勘定	-	-	764	0.3	-
	自己株式	-	-	△ 309	△ 0.1	-
	資本合計	-	-	52,750	20.7	-
負	債,少数株主持分及び資本合計	-	-	255,222	100.0	-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別  科 目	平成19年3月期第1四半期 (自平成18年3月21日 至平成18年6月20日)		平成18年3月期第1四半期 (自平成17年3月21日 至平成17年6月20日)		増 減	前年同期比
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	(A) - (B)	(A) / (B)
		%		%		%
売 上 高	83,982	100.0	66,861	100.0	17,121	125.6
売 上 原 価	60,112	71.6	49,339	73.8	10,773	121.8
売 上 総 利 益	23,870	28.4	17,522	26.2	6,347	136.2
販売費及び一般管理費	17,264	20.5	14,824	22.2	2,439	116.5
営 業 利 益	6,605	7.9	2,697	4.0	3,908	244.8
営 業 外 収 益	428	0.5	175	0.3	253	244.6
(受取利息・配当金)	(86)		(49)		(37)	
(雑収入)	(342)		(126)		(215)	
営 業 外 費 用	564	0.7	482	0.7	82	117.2
(支払利息)	(281)		(304)		(△22)	
(雑支出)	(283)		(177)		(105)	
経 常 利 益	6,469	7.7	2,391	3.6	4,078	270.6
特 別 利 益	1,075	1.3	8	0.0	1,066	12,071.6
特 別 損 失	3,115	3.7	1,432	2.2	1,682	217.5
税金等調整前当期純利益	4,429	5.3	967	1.4	3,462	457.9
法人税、住民税及び事業税	1,438	1.7	1,022	1.5	416	140.7
法人税等調整額	1,781	2.1	△ 516	△ 0.8	2,297	—
少数株主利益	490	0.6	△ 101	△ 0.1	592	—
四 半 期 純 損 益	719	0.9	563	0.8	155	127.7

### 3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	平成19年3月期第1四半期	平成18年3月期第1四半期	増 減
	〔自平成18年3月21日〕 〔至平成18年6月20日〕	〔自平成17年3月21日〕 〔至平成17年6月20日〕	
期 別	金 額 (A)	金 額 (B)	(A) - (B)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 税金等調整前当期純利益	4,429	967	3,462
2 減価償却費	1,644	1,624	19
3 固定資産減損損失	2,030	-	2,030
4 売上債権の増減額	8,942	7,890	1,051
5 たな卸資産の増減額	△ 5,554	△ 5,116	△ 437
6 仕入債務の増減額	3,888	△ 7,056	10,944
7 法人税等の支払額	△ 3,455	△ 6,044	2,589
8 その他	△ 5,777	△ 1,948	△ 3,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,148	△ 9,682	15,831
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 有形固定資産等の取得による支出	△ 2,138	△ 1,712	△ 426
2 有形固定資産等の売却による収入	1,080	143	936
3 投資有価証券等の取得による支出	△ 221	△ 14	△ 207
4 投資有価証券等の売却による収入	7	76	△ 68
5 その他	△ 24	△ 191	166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,297	△ 1,697	400
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 短期借入金の純増減額	△ 30	4,635	△ 4,665
2 長期借入金の返済による支出	△ 1,009	△ 976	△ 32
3 社債の発行による収入	-	49	△ 49
4 親会社の配当金の支払額	△ 1,396	-	△ 1,396
5 その他	△ 107	△ 89	△ 18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,543	3,618	△ 6,162
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 36	27	△ 63
V 現金及び現金同等物の増減額	2,271	△ 7,733	10,005
VI 現金及び現金同等物の期首残高	12,102	17,906	△ 5,804
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	-	-	-
VIII 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少	-	-	-
IX 現金及び現金同等物の期末残高	14,373	10,172	4,200

#### 4. 会計方針の変更

- (1) 在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、当第1四半期会計期間より期中平均相場による円貨換算に変更しております。この変更は、当グループの生産・販売のいずれの面におきましても在外子会社等の重要性が増していることに加え、各四半期毎の損益情報をよりの確に把握する為に行ったものであります。なお、この変更により、収益及び費用に与える影響は軽微であります。
- (2) 当第1四半期会計期間より、「固定資産の減損に係る会計基準」（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号）を適用しております。これにより減損損失2,030百万円を特別損失として計上しております。
- (3) 当第1四半期会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。

## 5. セグメント情報

### 〔事業の種類別セグメント情報〕

平成19年3月期第1四半期（自 平成18年3月21日 至 平成18年6月20日）

（単位：百万円）

	モーション コントロール	ロボット	システム エンジニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連結
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する売上高	36,353	30,162	9,999	5,540	1,925	83,982	-	83,982
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,861	145	647	522	4,260	10,436	△ 10,436	-
計	41,215	30,308	10,646	6,062	6,186	94,419	△ 10,436	83,982
営 業 費 用	36,516	28,305	10,914	6,389	5,704	87,830	△ 10,454	77,376
営業利益又は損失(△)	4,698	2,002	△ 267	△ 326	481	6,588	17	6,605

(注) 1 当第1四半期連結会計期間より名称を「ロボティクスオートメーション」から「ロボット」に名称変更しております。なお、これによる影響額はありません。

2 会計方針の変更

在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、当第1四半期会計期間より期中平均相場による円貨換算に変更しております。

なお、この変更により、売上高及び営業利益又は営業損失に与える影響は軽微であります。

平成18年3月期第1四半期（自 平成17年3月21日 至 平成17年6月20日）

（単位：百万円）

	モーション コントロール	ロボティクス オートメーション	システム エンジニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連結
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する売上高	28,537	25,394	6,194	4,392	2,342	66,861	-	66,861
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,765	331	660	293	5,384	10,436	△ 10,436	-
計	32,303	25,725	6,854	4,686	7,726	77,297	△ 10,436	66,861
営 業 費 用	30,504	23,788	7,888	5,096	7,319	74,597	△ 10,434	64,163
営業利益又は損失(△)	1,798	1,937	△ 1,033	△ 410	407	2,700	△ 2	2,697

### 〔所在地別セグメント情報〕

平成19年3月期第1四半期（自 平成18年3月21日 至 平成18年6月20日）

（単位：百万円）

	日 本	米 州	欧 州	ア ジ ア	計	消去又は全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,277	14,739	10,370	6,594	83,982	-	83,982
(2) セグメント間の内部売上高	12,220	80	151	2,294	14,746	△ 14,746	-
計	64,497	14,819	10,522	8,889	98,728	△ 14,746	83,982
営 業 費 用	60,737	13,454	9,849	8,006	92,047	△ 14,671	77,376
営業利益又は損失(△)	3,760	1,364	673	883	6,681	△ 75	6,605

(注) 1 前中間連結会計期間より名称を「北米」から「米州」に変更しております。なお、これによる影響額はありません。

2 会計方針の変更

在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、当第1四半期会計期間より期中平均相場による円貨換算に変更しております。

なお、この変更により、売上高及び営業利益又は営業損失に与える影響は軽微であります。

平成18年3月期第1四半期（自 平成17年3月21日 至 平成17年6月20日）

（単位：百万円）

	日 本	北 米	欧 州	ア ジ ア	計	消去又は全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	43,469	10,638	8,140	4,612	66,861	-	66,861
(2) セグメント間の内部売上高	11,645	45	84	1,674	13,449	△ 13,449	-
計	55,114	10,684	8,224	6,286	80,310	△ 13,449	66,861
営 業 費 用	53,925	9,810	7,761	5,816	77,313	△ 13,150	64,163
営業利益又は損失(△)	1,188	874	463	470	2,997	△ 299	2,697

(ご参考)

### 比較部門別連結売上高

(単位：百万円)

	平成19年3月期 第1四半期 自平成18年3月21日 至平成18年6月20日		平成18年3月期 第1四半期 自平成17年3月21日 至平成17年6月20日		対前年 同期 増減率	平成18年3月期 自平成17年3月21日 至平成18年3月20日	
		構成比		構成比			構成比
モーションコントロール	36,353	43.3%	28,537	42.7%	27.4%	133,909	41.5%
ロボット	30,162	35.9%	25,394	38.0%	18.8%	113,458	35.1%
システムエンジニアリング	9,999	11.9%	6,194	9.3%	61.4%	41,932	13.0%
情報	5,540	6.6%	4,392	6.6%	26.1%	24,783	7.7%
その他	1,925	2.3%	2,342	3.5%	△17.8%	8,833	2.7%
合計	83,982	100.0%	66,861	100.0%	25.6%	322,916	100.0%

(注) 当第1四半期連結会計期間から「ロボティクスオートメーション」の名称を「ロボット」に変更しています。

### 比較所在地別連結売上高

(単位：百万円)

	平成19年3月期 第1四半期 自平成18年3月21日 至平成18年6月20日		平成18年3月期 第1四半期 自平成17年3月21日 至平成17年6月20日		対前年 同期 増減率	平成18年3月期 自平成17年3月21日 至平成18年3月20日	
		構成比		構成比			構成比
日本	52,277	62.2%	43,469	65.0%	20.3%	208,728	64.6%
米州	14,739	17.6%	10,638	15.9%	38.6%	50,353	15.6%
欧州	10,370	12.3%	8,140	12.2%	27.4%	38,235	11.8%
アジア	6,594	7.9%	4,612	6.9%	43.0%	25,600	7.9%
合計	83,982	100.0%	66,861	100.0%	25.6%	322,916	100.0%

(注) 前中間連結会計期間から「北米」の名称を「米州」に変更しています。